

危険家屋対策

駅南口駅前広場の隣接地に建設される。

個別機能としては、

観光案内や物販、飲食質の高いトイレの設置等の基本機能のほか、路線バスやレンタカーといった2次交通の拠点機能や、地域住民の交流機能も併せた複合施設とし、道の駅としての指定も受ける予定となっている。

建物は、木古内町が誇る地域資源である「道南杉」をふんだんに使った、明るく暖かみのあるデザインとなっており今後、「道南杉」を広く普及させるためにも、建築材としての杉材の見本となる施設となるよう期待するところである。

観光交流センターの運営は、指定管理者方式で行う予定であるが今後、施設の管理運営に係る指定管理料の支出に伴う財政負担増が懸念される。また、テ

ナント方式により運営される飲食事業者の選定が喫緊の課題となっている。

開業後の安定した経営はもとより、町内外の皆さんに喜んで利用していただける施設となるよう期待するものである。

なお、観光交流センターの開業予定は、平成27年4月1日となっている。

屋根の雪下ろし事業 除排雪への支援で 冬期間も安心

これまで、高齢者世帯等に対する除排雪の支援について要望してきたが、このたび65歳以上のひとり暮らし世帯及び高齢者世帯等（身体障害者等の世帯を含む）に対する、高齢者等屋根の雪下ろし等助成事業の考えが示された。

助成対象事業は、屋

根の雪下ろしや家周辺の除雪及び排雪が困難なかつが指定業者に依頼した場合、除雪費用の3分の2を助成（1回の助成限度額は3万7000円）するもので毎年、1月から3月までの間で1世帯2回までとする内容となっている。

助成事業に関する条例改正及び事業助成補助金等は、11月28日開催の平成25年第8回木古内町議会臨時会で決定し、町民に対しての周知も行われているが、各町内会や地域の民生委員、福祉団体等により周知漏れのないような対応を図りたい。



屋根の雪下ろしや周辺の除排雪支援事業で安心して冬を過ごすことができます

上水道事業会計 料金値上げ慎重に

上水道事業会計の上半期の業務状況は、給水件数及び有収水量は前年同期と比較しそれぞれ減少しており、その主な要因は新幹線工事や高規格道路工事の関連事業所の撤退や、水を大量に使用する工事が終了したことによる旨の報告がされた。

今後、冬期間による水道使用料の減収及び企業償還金等により、本年度は約2300万円の赤字決算が見込まれている。

平成26年度中には、人件費の見直しや料金改定も視野に入れた中で、中・長期計画を策定することであるが、道内でも上位にある当町の水道料金であることを十分に考慮した上で策定にあたられるよう強く要望する。